



# 令和3年度 赤穂市立坂越中学校 学校評価・学校関係者評価

## 1 本年度の学校(園)経営方針

<p><b>1 学校教育目標</b> 『志を高く持ち、夢に向かって主体的に学ぶ生徒の育成』 ～さわやかな「あいさつ」、あふれる「笑顔」、響く「歌声」～</p> <p><b>2 基本方針</b> (1) 子供たちが互いに信頼し合い、毎日『笑顔』で安心して生活できる学校づくりのため、日々の「あいさつ」・「歌声」・を大切に、教育活動の中核に据える。 (2) 子供たちには志を高く持たせ、自分の夢の実現に向かわせるため、自身や母校、さらには地域に対する「自信」「誇り」を抱かせ、主体的に学ぶ力を身に付けさせる。 (3) 本校の伝統と文化を継承し、それを更に高く、更に深めることの大切さを謳う「坂中精神」に基づき、自ら「気づき・考え・行動」する生徒を育成する。</p>
--

## 2 本年度の学校(園)重点目標

<p>(1) 確かな学力を育成する。 (2) 豊かな心を育成する。 (3) 健やかな体を育成する。 (4) 新たな不登校を生み出さない取組を推進する。 (5) 特別支援教育の充実を推進する。 (6) 魅力ある学校づくり、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。 (7) 安全安心な学校づくりを進める。</p>	<p>&lt;知&gt; &lt;徳&gt; &lt;体&gt; &lt;不登校対策&gt; &lt;特別支援教育&gt; &lt;開かれた学校づくり&gt; &lt;安全安心な学校づくり&gt;</p>
--	--

## 総合的な学校関係者評価

○今年度も生徒アンケートで、約8～9割の生徒が「学校へ行くのが楽しい」と答えていることは評価できるが、言い方を変えれば1～2割の生徒は、楽しいと思っていないということなので、その部分を見逃さず、全ての生徒が楽しいと思える学校をめざして欲しい。

○生徒アンケートによると「授業が分かりやすい」と答えた生徒は昨年同様高い割合を示しているが、保護者アンケート結果はその数値より全体的に低く、生徒と保護者の間で認識が違う。更に、学校での授業の様子や、学習内容を保護者に周知する機会を増やしていけば良いと感じる。また、習熟度学習やグループ学習の導入で、個に応じた丁寧な学習が、定着し効果を上げており、今後もわかりやすい授業づくりに取り組んでいただきたい。

○「困ったときに相談できる先生がいる」では、教職員の自己評価と子供の評価が大きくずれているが、学年の進行に合わせて差が縮まっているのは良い傾向だと考えられるので、今後も努力していきたい項目である。

○今年も、新型コロナウイルス感染症の影響で、制限のある学校行事が多かったが、中でも、できることに創造的に取り組んだ一年だった。

○「学校通信」は、毎月定期的に発行してくれるので、学校の様子や学校の動きがよくわかる。今後もお願いしたい。

○コロナ禍であっても、これまでの取組実績が認められ、「グリーンスクール奨励賞」「兵庫県学校歯科保健優秀校」の2つの受賞があったことは、喜ばしいことである。

○交差点や横断歩道など、関係機関と連携しながら登下校の安全指導を実施する必要がある。

## 3 自己評価結果 (A～D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

観点(重点目標)	評価項目(学校園・教師の取組) 評価指標および目標値(期待される姿)	評価資料	達成状況	改善の方策
学習指導の充実	項目 協同学習を取り入れた困り感に寄り添う授業 指標 生徒一人ひとりに学びのある授業の推進	生徒アンケート	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的な授業づくり、グループ学習の推進</li> <li>英語、数学で習熟度学習の深化</li> <li>毎時間プリントを用意するなど、一人一人のニーズに応じた少人数授業のあり方の工夫</li> <li>モジュールを活用した学習タイムを充実させ、基礎基本の定着を図る</li> </ul>
	項目 基礎・基本を大切にした授業 指標 生徒にとって分かる授業の推進	生徒アンケート		
	項目 一人一人の生徒に対応した指導 指標 TTや少人数授業による指導	生徒アンケート		
	項目 生徒の意見をつなぐ授業 指標 多様な発言を引き出す発問	教職員自己評価		
	項目			
生徒理解につながる生徒指導	項目 いじめ、非行問題への対応 指標 共感的理解に基づく生徒指導体制の確立	生徒アンケート 保護者アンケート	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的ないじめアンケートを活用した教育相談の推進</li> <li>学校が一丸となった、いじめ・非行対策の推進</li> <li>教育相談の持ち方(時期、回数担任の時間確保等)の工夫</li> <li>生活ノートを活用や生活アンケートを活用した指導</li> <li>OS等、保護者や地域住民が参加できる機会の増設</li> </ul>
	項目 家庭、地域、専門機関と連携した生徒理解 指標 保護者、地域と連携した行事の推進	生徒アンケート 保護者アンケート		
	項目 望ましい集団生活を目指す 指標 自ら気づき、考え、行動する生徒の育成	生徒アンケート 保護者アンケート		
	項目 思いやりのこころを持つ生徒の育成 指標 共に支え合い、高めあう生徒の育成	生徒アンケート 保護者アンケート		
	項目 新たな不登校を生み出さない取組 指標 生徒理解・保護者との連携の推進	生徒アンケート 保護者アンケート		
	項目			
特別支援教育の充実	項目 特別支援教育について全員の共通理解を図る 指標 特別支援教育学習会を毎月開催	研修会の開催及び研修内容	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤穂特別支援学校と連携した交流行事の内容深化</li> <li>職員会議時に、特別支援教育コーディネーターを中心とした研修会の開催(今年度2回実施)</li> <li>教育支援委員会の定期的な開催による共通理解(月1回)</li> <li>個別支援計画、指導計画の更新</li> </ul>
	項目 教育相談と指導を適切に行う 指標 特別支援教育校内委員会の定期的な開催	校内委員会の開催及び協議内容		
	項目			
	項目			

## 学校関係者評価

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切でない X:適切でない

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目ごとに多少の違いはあるが、生徒アンケート、保護者アンケートともに、良好である。どの項目についても、全員がそう思っていなければ、課題があるものとして、気を抜かず取り組んで欲しい。授業は楽しく、生徒が主体的に生き生きと参加できるよう、今後も工夫して欲しい。</li> <li>習熟度学習やグループ学習の取組を継続してほしい。</li> <li>卒業生が、それぞれの進路先(高等学校等)で活躍している様子をよく聞いている。今後も授業においては、わかりやすい授業づくりに取り組んでほしい。</li> </ul>
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの結果で「困ったときに相談できる先生がいる」では、学年の進行と同時に、増えているので、良い傾向だと思われる。</li> <li>日々の生活習慣を守り、学校のことを家でよく話をし、笑顔で元気に過ごしているので、今後も継続を願う。</li> <li>不登校の問題は対応が難しい。小学校からその傾向がある場合が多いので、早めに小学校と連携をとる必要がある。</li> <li>中学生は登下校中に、積極的に挨拶をしているので学校生活が充実していると推察される。今後も学校生活の充実に向けた取組を期待する。</li> </ul>
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も特別支援教育コーディネーターを中心とした研修会(特に伝達講習)を定期的実施して欲しい。</li> <li>赤穂特別支援学校との連携は、とても充実していると感じる。今後も継続して欲しい。</li> <li>特別支援教育コーディネーターを中心とした指導体制をさらに整備して欲しい。</li> </ul>

観 点	評 価 項 目 (学校園・教師の取組)		評価資料	達成状況	改善の方策
	評 価 指 標 (児童・生徒・園児の状態・行動)				
人権教育の推進	項目 指標	人権教育の視点に立った教育活動 一人一人を大切にされた教育活動	生徒アンケート 保護者アンケート	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的、対話的な場面を取り入れ、授業や生活の中で一人一人を大切に教育活動の実践</li> <li>人権教育、道徳教育の充実による、相手を思いやるこころの育成</li> <li>性の多様性の対応に向けた人権教育研修及び授業の充実</li> <li>授業のユニバーサルデザイン化</li> </ul>
	項目 指標	感性豊かな優しい心情を育む 思いやりのある行動がとれる児童の育成	生徒作文 生徒アンケート		
	項目 指標	新たな人権教育の推進 体験的・実践的活動の充実	生徒作文 生徒アンケート		
	項目 指標				
	項目 指標				
健康安全教育の推進	項目 指標	食育の推進 「早寝、早起き、朝ごはん」運動の推進	生活アンケート 保護者アンケート	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の生活アンケートを生かした保健指導や保護者への啓発</li> <li>外来者への声かけ及び施設等の定期的な点検及び改修</li> <li>危機対応マニュアルの更新</li> <li>自転車の定期検査の実施</li> <li>交通ルールやマナーの定期的・継続的な指導（交通安全教室）</li> <li>6校園所の連携による「早寝・早起き・朝ごはん運動」の取組</li> </ul>
	項目 指標	危機管理体制の整備 外来者等に適切に対応できる	対応マニュアル		
	項目 指標	安全管理体制の整備 事故等に対する適切な対応	対応マニュアル		
	項目 指標				
	項目 指標				
教職員の資質向上	項目 指標	新しい情報を取り入れた研修・研究の実施 研修会の開催と研修したことを生かした実践	生徒アンケート 保護者アンケート	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的、対話的な授業づくり研究会の実施（年1回実施）</li> <li>全教員による授業公開</li> <li>道徳の時間の充実のための授業研究会の定期開催（学期1回）</li> <li>継続的な職員研修</li> <li>校内における自主研修及び内部講師による職員研修</li> </ul>
	項目 指標	専門性を生かした教育活動の推進 専門性を高める研修会の実施と実践	生徒アンケート 保護者アンケート		
	項目 指標				
	項目 指標				
	項目 指標				

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も授業において主体的、対話的な場面を取り入れ、一人一人の学びを大切にされた授業を構築していくとともに、生徒全員が自己有用感や自尊感情が高揚するよう、更に工夫して欲しい。</li> <li>性の多様性への対応だけでなく、防寒対策や体の動かしやすさも踏まえた上での制服のモデルチェンジを考えていく必要がある。</li> <li>合理的配慮についての取組を進めるなかで、インクルーシブな社会作りへ発展させて欲しい。</li> <li>困っている小学生や下級生に対して、優しさを発揮できる生徒がいることに大変嬉しく思う。</li> </ul>
○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車通学の安全について留意し、横断歩道や交差点での安全対策を強化してほしい。</li> <li>コロナ感染防止対策は、しっかりと取り組んでいる。</li> <li>「早寝、早起き、朝ごはん」運動の意義を今後も大切にして、PTAへの啓発と保護者と連携した取組をしてほしい。</li> <li>兵庫県学校歯科保健優秀校の受賞は、健康の大切さを考えさせる良いきっかけとなっている。</li> <li>コロナ禍での子供の体力低下が気になる。</li> </ul>
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事や学校に登校しにくい生徒への取組は、教職員全体としてよく取り組んでいる。それぞれの専門性や研修会での学びを共有しながら取組を期待する。</li> <li>これからも、学校で定期的に同様の職員研修を実施し、自己研鑽に励んでほしい。</li> <li>若い先生も増えているようなので、年配の先生の技を伝えていくよう工夫してください。</li> <li>外部講師の候補者も地域にいろんな方がおられるので、いつでも相談して欲しい。</li> </ul>

### 自己評価における特記事項

- 本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響の影響で、講師招聘による研修が実施できなかった。研究課題としている「主体的で対話的な深い学び」に向け、各自による教科指導・道徳授業等の実践となった。
- 道徳教育について、市内の道徳研究部会を中心とした授業づくり研究を行った。特に若手教師へ授業づくりへの啓発を行うことができた。道徳の授業研究については、ここ数年、継続して行っているため、これまでの成果の蓄積を今後も大切にしていきたい。更に、その積み上げとして次年度も成果を更に伸ばしていくことを考えたい。
- 「早寝・早起き・朝ごはん運動」を継続する中で、保護者や子供たちの健康に対する意識も定着しつつあり、今年度は、歯の綺麗な学校に贈られる「兵庫県学校歯科保健優秀校」の受賞に繋がった。
- 学校だよりを全戸回覧し、できる限り学校や生徒の様子を地域・家庭に発信し、同時に学校に対する意見を求める機会となった。地域の中学校に対する関心が更に高まり、内容についてのご意見もいただけるようになった。
- 自己評価の充実を図るため、前年度とのデータを比較できるように今年もグラフ化し、視覚的理解の向上に努めた。また、「生徒の意識」と「教職員の意識」、「保護者の意識」の相互のずれを比較できるように工夫し、内容の分析に役立った。
- 学校目標に「『あいさつ』、『笑顔』、『歌声』」と提示しているように、今年も、新型コロナウイルス感染症拡大予防の為に、歌声については、自粛がもとめられたが、「あいさつ」については、生徒会が中心となって効果的に取り組んだ。
- 地域からの挨拶についての評価（手紙が数回）があり、その都度全校集会や学校便りを通して広く周知した。その結果、生徒一人一人の坂中生としての「自信」や「誇り」を、さらに高揚させることができた。
- 地域との連携を深める第1歩は、中学生による地域貢献と考え、限られた条件の中ではあるが、清掃ボランティアの実施等、積極的に実施している。その結果、永年の取組が評価され、「グリーンスクール奨励賞」受賞に繋がった。
- 令和3年度の総ての学校行事は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭にいたれた活動であった。そのため、学校運営協議会会長をはじめ、委員の方々と何度も連絡を取り合い、より適切な判断に基づき実施することができた。

### 項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

- このコロナ禍にあっても、学校行事等に工夫が見られました。また、感染者が極力抑えられているのは、学校・家庭での協力がしっかりされている結果だと思えます。今後も感染防止対策を継続してほしいと思えます。
- 「新坂越大橋西詰」や「めたか橋」での安全対策について、歩車分離式の信号設置の要望や、無謀な車への安全対策等、市へも要望して欲しいです。
- 登下校時に、自転車の二列走行が散見されます。ふとした気の緩みだと思えますが、安全運転に十分気をつけて欲しいと思えます。
- 中学校はよく挨拶ができると感るので、継続した取組をお願いしたいです。
- 制服のモデルチェンジについては、市内で統一したブレザーになれば価格を抑えることが出来るのではないかとと思うので検討をお願いします。
- 女子のスカートについては、冬は本当に寒いので、ズボンタイプなどの防寒対策の検討をお願いします。
- 歯については、一般的には虫歯が多いと聞いていますが、歯の綺麗な生徒がたくさんいるのは素晴らしいことです。
- 新型コロナウイルス感染症感染が、一日も早く収束するのを願っています。いろいろな行事観戦を通して、子供たちから元気を吸収したいものです。
- 保健室は、いつも「誰でもウェルカム」な状態なので、これからも子供たちを受け入れる体制をお願いしたいです。